

# よこすか海洋シンポジウム 2019 (第22回)

テーマ：「横須賀と鯨 もっと鯨を知ろう！！」

## 第1部「近代日本と鯨」 講師 山本詔一さん（横須賀開国史研究会会長 郷土史家）

1845年に、マンハッタン号（アメリカの捕鯨船）が、捕鯨作業中に日本人遭難者22名を救助し、彼等を送り返し薪水補給を行うために浦賀に来航しました。1853年には、アメリカのペリー司令長官率いる4艘の軍艦が浦賀沖に来航し、開国を求めましたが、その大きな目的の一つは、太平洋で操業していたアメリカの捕鯨船の補給地として使える港を確保することでした。幕末の鎖国から開国を経て近代化を進めた日本と鯨の関りをお話して頂きます。



ハクジラで最大のマッコウクジラの潮吹き



マンハッタン号の模型（浦賀 郷土資料館）

## 第2部「日本の生活と鯨」 講師 山村和夫さん（日本捕鯨協会会長）

我が国周辺海域は、海外からジャパン・グラウンドと称された鯨資源の宝庫で、日本では古来より鯨を食用に利用、戦後の食糧難期には進駐軍の指導もあって消費が全国に広がりました。大洋漁業の捕鯨基地があった横須賀は、昭和時代における母船式捕鯨の盛衰を目の当たりにしました。その鯨の特性と鯨食文化について解説して頂きます。



網捕式捕鯨の様子（約200年前）



第三日新丸（長浦港）

- ・と き 2019年10月5日（土）13：30～17：00（開場13：00）
- ・と ころ 記念艦「三笠」講堂
- ・参加費 無料（事前申込が必要） 当日参加者は入艦券の購入をしていただきます。
- ・申込期限 9月28日（土）（必着）
- ・申込方法 「海洋シンポジウム参加希望」と明記し、「〒番号、住所、氏名、年齢、電話番号」、を記載の上、Fax、またはハガキで、またはYCCのホームページからお申込み下さい。なお、同行者がある場合、同行者全員の「住所、氏名、年齢」を併記して下さい。
- ・申 込 先 Fax：046-834-8521（横須賀YMCA内 よこすか市民会議事務局 宛）  
ハガキ：〒239-0807 横須賀市根岸町3-3-15・横須賀YMCA内 よこすか市民会議事務局 宛  
YCCホームページ：<https://www.ycc2018ikou.org/> 申込の頁にお進みください。

★ 当日、抽選で鯨缶を100名様にプレゼントします。

問 合 せ よこすか市民会議 専用ダイヤル 090-9965-2284（9：00～17：00）

主催：まちづくり文化ボランティアグループ よこすか市民会議（YCC） <https://www.ycc2018ikou.org/>

後援：横須賀市 横須賀市教育委員会（公財）横須賀市生涯学習財団 横須賀商工会議所

協賛：横須賀商工会議所 住友重機械工業（株）横須賀製造所 かながわ信用金庫 ウイングス久里浜（株）臨海（株）むらせ 読売新聞横須賀支部 京浜急行電鉄（株）（株）大蔵技建 横浜ステージプラン（株）（株）共栄エンジニアリング 住重横須賀工業（株）（株）ケーエムシー横浜（順不同）